

『新・北海道飛躍のシナリオ』発刊のご案内

『北の交差点』は、企画・編集全般にわたり各方面の専門の方々の指導・助言をいただきながら発刊しています。昨年6月、多くの人に惜しまれながら、49歳という若さで逝去されました北海道開発局開発土木研究所構造部長、故大橋 猛氏は、創刊当初からの熱心なアドバイザーの一人でした。

大橋氏は、1995年に出版され好評を博した「北海道の未来を展望するエンジニアの会」著『北海道飛躍のシナリオ』の実質的な著者でもありました。前著は、産学官をはじめ多くの分野の反響を呼びましたが、氏は、その後も北海道の21世紀構想への情熱を燃やし続け、病と闘いながらも第2のシナリオを世に問うため、原稿を書き進めていました。しかし、完成を待たずに旅立たれました。

これらの遺稿が、氏の遺志に共鳴する人々により編集され、『新・北海道飛躍のシナリオ』として刊行されました。

北海道の社会経済に停滞感が強まる現在、故人の広い視野、未来を見つめる姿勢、そしてなによりも北海道を愛する強い情熱は、我々に希望と指針を与えてくれるに違いありません。是非ご一読下さい。



頒価 2,000円 上製本 200頁
 編集：北海道の未来を考えるエンジニアの会
 発行（問合せ先）：(株)クレオ・ムイナス
 『新・北海道飛躍のシナリオ』係
 〒060-0944 札幌市中央区大通西17丁目
 ノワム大通ビル3階
 TEL 011-643-5145 FAX 011-643-5369

当センターのロゴマークが 決まりました



- **Rmec** は、(財)北海道道路管理技術センター Hokkaido Road Management Engineering Center のロゴマークです。
- **R**は、**A** からなり、**A**果てしなくのびる **hokkaido** の道路を、**R**ロータリー、インターチェンジ、交差点をイメージとしており、全体として、北海道の生活と経済を支える基本的な社会資本としての道路と『北の交差点』としての当センターの役割を合わせて、躍動的な字体のなかに表現しています。
- **mec** は、その大切な道路を安全確実に管理するための優れた技術力の拠点であるべき当センターの使命を表しています。
- カラーは、**hokkaido** の大地と道路の舗装をイメージしたグレイと **mec** を大自然と安全を表すグリーンにしています。
- 地平線の彼方まで続く北海道の道路、その道路を安全快適に管理する一翼を担いたいという当センターの意志を表したロゴマークです。

ホームページ版『北の交差点』 開設準備中

当センターでは、道路管理に携わる各分野の人々が、的確な情報を共有することを目的に、情報誌『北の交差点』を刊行していますが、この度ホームページ版『北の交差点』を開設すべく、準備を進めています。

現在、北海道の道路に関する情報は、行政や企業、個人などが発信する様々なホームページ上に点在しています。これらの有益な情報に的確にアクセスするためには、「道しるべ」の役割が必要です。

そこでホームページ版『北の交差点』は、錯綜する情報の入口となり分岐点となる、文字通り北海道の道路に関する「情報の交差点」となることをねらいとしています。どのようなものになるか、ご期待下さい。



編集後記 From Editorial Room

- 交通事故によって毎年約1万人もの尊い命が失われ、ドライバーのモラルや道路管理についての指摘がなされています。今号の特集は「交通安全」ですが、人間が動かす車を凶器としないためにも、心にブレーキをかけた安全運転が第一ではないでしょうか。
いよいよ北国にも花々の季節が巡り、心が浮き立つ日々となりました。春の時の移ろいを満喫しながら、安全で快適な道路の管理に日夜ご苦労されている皆様に、心から感謝いたしたいと思います。(M. O)
- 最近、コミュニケーション型行政への指向が高まっているが、これは何も行政に限ったことではないと感じている。デジタル化社会、スピードの時代、価値観の多様化のなかで、アナログ的情緒等の形成、社会人としての自立や成熟社会の実現のためには、社会、家庭、個人等のすべての場面においてコミュニケーションの意義を再考する時代ではないだろうか。(Y. O)